

## 横7 現場画像等を用いた事故防止対策

求める技術：⑦⑩

## 1 課題を抱える業務の内容

水道局では、発注する工事で労働災害や公衆災害が起きないように安全管理に努めています。

具体的には、局職員が定期的に工事現場の安全パトロールを行い、危険個所への対策状況を確認しているほか、安全意識の向上にむけ、工事安全研修等を通じて、安全パトロールの指摘内容や重大事故の事例等を、職員及び工事事業者間で共有しています。

## 2 課題の詳細

安全パトロールや工事安全研修の実施により、事故発生件数は年々減少傾向にあるものの、依然としてヒューマンエラーに起因した事故が発生しています。中には、一歩間違えれば人命にも関わる事故が発生しており、このような工事事故を防止していくことは、水道工事を発注する水道事業者として非常に重要な責務と言えます。

## 3 こんな技術を求めています！

- 現場の画像等から、危険個所の検出や危険行動を取る恐れのある作業者等を検知し指摘する技術
- 現場の画像等や作業内容から想定される危険を指摘してくれる技術
- 動いている重機の付近に人がいることを重機の操作者に知らせる技術
- その他工事安全に係る技術

## 4 技術の導入により代替が期待される業務

- 工事安全パトロール
- 現場で行う監督業務など

## 5 事業規模・業務量

- 年間工事検査件数：※231件（500万円以上の土木工事） ※：令和5年度実績
- 年間事故発生件数※38件（公衆災害33件、労働災害5件）